



梅田通信

日野市議会議員 梅田俊幸 後援会 梅田通信

No. 25
平成24年
1月5日発行

2012. January

UMEDA TOSHIYUKI'S NEWS

寒中お見舞い申し上げます

新春を迎え、皆様はどのような新年をお過ごしでしょうか。被災地では、仮設住宅で厳しい冬を迎えることになりました。少しずつではありますが復旧している所もあるようですがまだまだ復興計画が進んでいない状況も多く、東北地方の厳しい冬が余計に堪えることと推察致します。政府には昨年の臨時国会で成立しました第三次補正予算を早期に実施し、原発関連の問題も含め、復興に向けた計画が軌道に乗るようにして頂きたいと思います。

日野市でも市民の皆様からも多くの義捐金をお預かりし、主に赤十字を通じ、被災された皆様へ寄付をさせて頂きました。当初は、県や市町村の混乱などがあり、遅延しておりましたが徐々に分配されていることと思います。

昨年秋、多摩平二丁目商店会の役員の方々から被災地へ義捐金を送りたいとのご相談がありました。出来れば、行く先が見える寄付をしたいという思いもあり、考慮した結果、11月から当市の職員が南相馬市へ半年間、派遣されることもあり、原発関連の被害もあることから、南相馬市へ50万円寄付をさせて頂くことにしました。今月、市長が表敬訪問するという事で持参する予定になっております。これまで南相馬市とご縁はありませんでしたがこれを機会に交流が出来れば幸いです。

さて、12月の議会では、今後の財政見通しについて、施策展開の考え方を質問しました。特に来年度は、固定資産税の評価替えもあり、経済状況の影響による税収の落ち込みも大きく、予算編成が大変な状況です。

当市は、平成22年度から地方交付税の交付団体へと7年ぶりになってしまいましたが健全財政への転

換もこの経済状況では難しい状況です。今年度から実施しています、第4次行財政改革の推進は元より、今まで通りの施策展開にも大きくメスを入れる必要もあり、市民の皆様からは、様々な点でご指摘があるかと思えます。

しかし、一時的に財政調整基金の取り崩しや臨時財政対策債による借り入れで凌いだとしても長続きはしません。義務的経費の上昇を抑える努力もしなければなりませんし、赤字公債の増加はおさえなくてはなりません。今後の財政について、しっかりと議論する必要があります。

政府では、今後の社会保障と税の一体改革の議論から消費税増税を考えていますが前提として大規模な行財政改革を実行することが条件ではないでしょうか。小手先の議員削減ぐらいでは、国民は、納得しないと思います。当市は、これまでも議員削減や第3次行財政改革を実施してきましたが国においても公務員制度改革や特別会計の見直し、外郭団体の統廃合など、やるべきことは山ほどあります。野党も入れた、一見、ショーのような事業仕分けを行っても氷山の一角と言わざるを得ません。

今月から通常国会が始まりますが去年の臨時国会で遣り残した公務員給与削減法案や労働者派遣法改正案、グローバル企業研究開発事業促進特別措置法案などを速やかに通し、消費税増税やハッ場ダムの建設再開などマニフェストの変更するのであれば、国民へ総理自ら説明を行い、議論を尽くし、国民に真を問うべきと思います。

今年もしっかりとした活動を行いますのでご支援の程、宜しく願い申し上げます。

平成24年初春月

平成23年度第4回定例会報告 (11/30~12/16)

今定例会の主な議案としては、職員給与の減額する条例改正、都市計画税の減額延長の条例制定、仮)市民の森ふれあいホール条例の制定、高齢者見舞金の廃止等がありました。また、平成23年度12月補正予算(特別会計含む)約10億1千2百万円が計上、可決されました。

職員給与は、都人事委員会勧告により、主に0.24%減額、住居、扶養手当等を東京都並みに減額するものです。

都市計画税は、20年前より0.3%から0.25%に時限制限により減額されておりますが3年間延長しました。

仮)市民の森ふれあいホール条例は、今後の活用、管理、運営の指針を制定しました。特に関係各位からご不満がありました料金については、激変緩和措置を取り、減免を検討するようにしましたので1月以降に公表されます。

高齢者入院見舞金は、以前より市民行政評価でも廃止の指摘があり、高齢者人口の増加や現金給付の是非、近隣他市の状況を検討し、廃止としました。ご理解頂きたいと思えます。

補正予算では、生活保護費の増額や自立支援介護給付費、ごみ処理施設緊急修繕費、また課題となっていた大坂上通り歩道拡幅工事、仲田公園整備などがあります。

12/7(水)一般質問を行いました。
(市議会のホームページ上で録画を見ることが出来ます。)

20-1 人権教育、領土教育の現状について

政府は、昨年4月、「人権教育・啓発基本計画」に拉致問題を加えることを閣議決定し、5月に人権教育として、拉致問題を学校でも取り上げるように都道府県教育委員会へ通達しました。

しかし、7月の報道では、平成20年6月から拉致問題対策本部が全国の小中高校約3万7千校に配布をした拉致問題を描いた啓発アニメ「めぐみ」の上映実績は、僅か3.7%だったということです。教職員が見た学校でも7.8%であり、東京都では、29校だけということです。このDVDは、横田夫妻が監修し、政府が作成したもので、インターネットでも観られます。アニメですので小学生にもよく理解出来るものであり、政府からの通達も出ていますので、本市としての取り組み状況を聞きました。

答弁としては、既に実施している学校もあり、12月10日からの北朝鮮人権侵害問題啓発週間に合わせて実施するところもあるということでした。しかし、予定がない学校もあ

るということですので、しっかりとした指導をお願い致しました。また、政府拉致問題対策本部では、映画「めぐみ—引き裂かれた家族の30年」の上映開催校も募集をしており、この機会に取り組んで頂けるように合わせてお願いをしました。

先日の新聞報道でも立川市の中学校での取り組みが紹介されていましたが拉致問題の解決には世論喚起が必要であり、教育の重要性を痛感します。

ご案内のとおり、12月10日から16日は、北朝鮮人権侵害問題啓発週間です。本市においてもポスター掲示やリーフレット配布等は行っておりますが十分とは言えません。東京都よりの指導もありますがパネル展示等、より充実した今後の取り組みをお願いしました。

続いて、領土教育についての現状を聞きました。昨年10月、東京都教職員組合が来年度から使用する中学校教科書採択にあたり、教員向けに各教科書を比較検討した資料の中で島根県竹島を政府見解とは違う、「日本領と言える歴史的な根拠はない。」と書いていたことが判明しました。都教組には、この資料に基づき組合の意向を採択に反映させる狙いがあった訳です。本市では、このようなことはなかったと参事は断言しましたが今後も注視しなければなりません。竹島についても北方領土と同様に新学習指導要領解説書でも「北方領土と同様に我が国の領土・領域について理解を深めさせることも必要である」と明記されており、地理では、全教科書が日本領となっています。至極、当然のことです。

本市の状況では、使用されている教科書に十分な記載があるとは言い難く、資料集や新聞を教材として活用し、時事問題として取り上げているということです。

しかし、本来、検定を通った教科書を使用することが基本であり、副読本や他の教材使用には賛否があります。先生方個々の考えも多少の違いもあり、教育委員会として十分に注意をする必要があると思えます。

本市の今年度使用教科書の中学校公民的分野は、清水書院であり、来年度から使用が決まっている帝国書籍は、竹島と尖閣諸島の記述はなく、北方領土については、コラムでの表記のみです。領土問題に関しては、この教科書で十分か疑問です。

教科書採択は、学科別に教員による委員会から審議会へと段階を経て、最終的には、教育委員会で決定する仕組みになっております。市民の皆様は、本市の教科書について如何お考えでしょうか。

現在、日本は、領土、領海について、北方領土や竹島、尖

閣諸島など様々な問題を抱えております。当然、相手国があり、自国だけの努力では、どうにもなりません。また、相手国が親日的とも思えませんし、同様の考えでもありません。既に戦後66年も経過しており、残念ながら今後、何十年かかるかも予想できません。私も北方領土問題では、ビザなし訪問に参加し、返還要求運動や講演会等にも数々参加しておりますが今後、政府はどうすべきか、有識者でさえも明確な答えを持っていません。他の領土問題も同様であり、決定的な打開策が無いまま、時間だけが経過し、余計にこじれるままです。領土・領海問題については、戦略に基づく政策が必要であり、その一つとして教育の重要性があるのではないかと思います。

20-2 財政の今後の見通し、 計画的な施策を進めるには

昨年9月、今後の財政状況の見通しが発表されました。来年度以降、義務的経費（扶助費・公債費・操出金等）が市税収入を上回るとの予測がされております。内訳は、平成11年度には、その差が約107億円ありました。11年前との比較では、扶助費は、約60億円、他会計（国保・介護・後期・病院等）への操出金は、約23億円増加しています。歳入はほとんど横ばい状態ですが歳出の増加が著しく、今後の増加も予想されます。

このような財政見通しを考えた上で計画的な施策を進めるにはどうしたらよいか。投資的財政についての考え方、成長戦略として基盤整備等のまちづくりを推進することにより、歳入増に繋がるのではないかとという視点で質問を行いました。

現在、一般会計の起債残高（平成22年度ベース）約332

億円の内、約半分が赤字公債であり、今後の財源不足から増加の懸念があります。しかし、将来を見据えた市税確保を目的とする投資的な視点も必要であるとの見解もあり、住み良い利便性のあるまちづくりが市としての価値を高めるという考えもあります。今後検討される「50年ビジョンプロジェクト」では、工業振興基本構想や商業活性化策等の運動により、総合的に日野市のまちづくりを考えるということです。この中で長期的な財政投資による効果を考えた議論も必要であると思います。

また、次に当面の歳入増加策はあるのか、財政担当の見解を聞きましたが行政サービスとしての手数料や使用料については、受益者負担の算定基準を明確にし、総合的な見直しを行うということやこれまでも行っている市有遊休地等の売却や活用の推進などを行うということです。

何れにしても、経済状況を考えれば、自然的な税収増を期待することは無理であることから歳入増の施策も中長期計画で策定する必要があります。今後ますます増加傾向の扶助費や操出金等をどのように抑制できるかも課題ですが行財政改革にも限界はあります。

市長は、セットバックということを仰っております。この考え方では、行政施策の転換や市民意識の転換がどこまで市民各位に浸透できるか、大きな課題と言えます。50年先を見越した先見性のある施策検討は容易でないと思いますし、結果は直ぐには見えませんので評価は様々だと思います。

私達の大切なふるさと日野市を子孫へしっかりと継承していくためにも、日野市としてやらなければならない大きな課題だと思います。

トピックス



10月3日 議員研修

立川市にある第8方面本部ハイパーレスキュー隊を見学しました。各種装備品の説明や新潟中越、東日本大震災での対応を聞きました。



12月10日 豊田商店会「豊田じぞう宅配便」開所式
日野市らくらくお買物支援モデル事業。
買い物弱者対策として、店頭で買った物や、電話注文の物を宅配するサービスです。



12月19日（仮）市民の森ふれあいホール見学
この施設は、体育館機能だけでなく防災、子育てカルチャー、福祉（高齢者、障害者など）等、様々な用途に対応するものになっています。

活動報告

9月

9月1日～27日

平成23年度第3回定例会

- 3日 敬老大会
光の家正秋バンドチャリティコンサート
- 10日 若宮神社祭礼 子供相撲大会
- 11日 若宮神社祭礼式典
- 13日 市民文教委員会
- 14日 農業委員会
- 16・17日 九州・沖縄地区防衛協会大会



体験搭乗
P3-Cコックピット内

- 18日 石明神社祭礼式典
- 21日 平成22年度特別会計決算委員会
- 25日 明治神宮崇敬会支部対抗剣道大会



26日 佐藤正久参議院議員活動報告会

10月

1日 豊田駅バリアフリー化事業竣工式

地域の皆様の切望が
ようやく竣工しました



二小運動会

- 2日 日野市剣道連盟大会
- 3日 議員研修 第8方面本部
ハイパーレスキュー見学
- 5～7日 全国都市問題会議 鹿児島

鹿屋基地、
知覧平和記念館見学



- 8日 わかば保育園運動会
- 9日 日野ふたば幼稚園運動会
- 10日 少年バスケットボール市民体育大会
- 11日 街頭活動報告会
高幡不動・豊田・日野
- 13日 農業委員会研修会 多摩市
- 14日 予算要望書提出

平成24年度
予算要望書を
市長へ提出



- 15日 幻の真慈悲寺特別展開会式
- 16日 環境フェア 三市防衛協会講演会
- 18～20日 農業委員会研修
- 23日 立川基地防災航空祭
- 27日 教育センター中間報告会
- 29日 滝合小40周年式典

▼第二武蔵野台自治会防災炊き出し



横須賀記念館三等にて

- 30日 後援会第8回バス旅行▲
- 31日 自民党三支連研修会

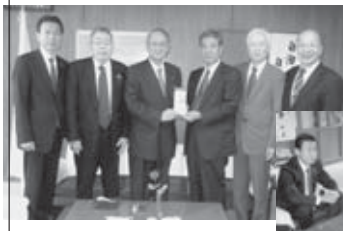
11月

11月1・2日 市民文教委員会視察 名古屋・浜松

名古屋
市「エコパルなごや」にて



- 3日 日野市表彰式
二中育成会三世代の集い
- 5日 平山中30周年式典
- 6日 グランループ防災訓練
市立病院50周年式典
第四自治会研修会
浅川流域シンポジウム
- 8日 多摩平二丁目商店会 南相馬市へ寄付



市長室にて
寄付金贈呈

- 8日 農業委員会建議提出
- 9日 農業委員会
自民党三議連冬期研修会
- 11日 戦没者追悼式
- 12日 第45回産業祭
- 15日 市民文教委員会
三中プロジェクト視察
- 19日 二小小学芸会、第27回保育まつり
- 22日 第6回高幡
もみじ灯路▶
- 23日 花塚供養式典
- 24日 藤幼稚園
▼(立川市)視察



高幡不動参道通り



藤幼稚園視察 様々な先進的取り組み驚きました

- 25日 代表者会議
- 27日 秋の一斉清掃 多摩平第七公園
少年バスケットボールひよこカップ
- 28日 二小学校運営連絡協議会
- 11月30～12月16日
平成23年度第4回定例会

12月

12月1日 明治神宮神符奉戴式

- 3日 高幡不動尊
川澄貫主
祝賀会▶

「叱られる幸せ」出版記念
傘寿の会



- 6日 理事者との懇親会
- 10日 豊田じょう宅配便開所式
自民党都連大会
- 13日 市民文教委員会
- 14日 がん対策議員連盟中間報告会
農業委員会
- 15日 多摩平の森まちづくり協議会
光の家クリスマス会
- 19日 飯)市民の森ふれあいホール見学
- 20日 第7回農の学校修了式
- 26日 国道バイパス促進議員連盟総会
(八王子市)
- 29・30日 多摩平一丁目防犯・防火パトロール
- 31日 若宮神社 商店会、神輿会による奉仕

1月

- 1日 拉致被害者支援街頭活動
高幡不動駅